



株主の皆様へ

第72期のご報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

目次

株主の皆様へ	1
当社グループにおける第72期の業績	2
セグメント別の概況	2
今後の見通しと取り組み	3
フジックスグループNetwork	4
財務諸表	5
トピックス	7
会社の概況	10
株式の状況	10



おしゃれのとなりに
株式会社 フジックス

証券コード：3600

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、いまだ収束が見通せず、多大なる影響を受けておられますことと拝察いたします。

さて、このような状況の中ではございますが、おかげさまで当社は、2021年3月をもちまして創業満100年という節目を迎えることができました。

1921年(大正10年)3月10日、創業者藤井太一が京都西陣の一角で絹撚糸の販売を開始して以来、「誠実」を社是とし、その後、縫い糸の製造販売を主たる事業として様々な時代の変化を乗り越えてまいりましたが、これもひとえに株主の皆様を始め、全てのステークホルダーの皆様の長きにわたりますご指導、ご支援の賜物であり、あらためまして厚くお礼を申し上げますと共に、株主の皆様には、長年にわたりますご支援への感謝の気持ちを込めまして、僅かではございますが、記念配当を加え、当期の期末配当金を増配させていただきました。

それではここに右記の通り、当社グループの第72期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)における業績と今後の見通し等につきましてご報告申し上げます。

収束の見通せないコロナ禍にあって、厳しい経営環境が続きますが、当社グループといたしましては、一丸となってこの苦難を乗り越え、さらなる社歴の構築に努めてまいりますので、株主の皆様には今後とも長い目でご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

藤井 一 郎

当社グループにおける第72期の業績

当期におけるわが国経済は、昨秋以降、新型コロナウイルス感染者が再び増加傾向に転じ、本年1月には、11都府県で2度目となる緊急事態宣言の発令に至るなど、先行きの見通せない状況が続きました。

アパレル・ファッション業界におきましては、コロナ禍による外出機会の減少や購買意欲の減退、インバウンド需要の消失等により落ち込んだ国内における衣料品消費は、回復も限定的で、国内外におけるその生産も一部を除いて抑制傾向が続いたことから、当社グループの主力である工業用縫い糸の受注は第3四半期以降も低迷が続きましたが、その一方で、巣ごもり需要とも言える家庭でのソーイング需要は、徐々に沈静化を見ながらも高止まり傾向が続き、当期の家庭用縫い糸の受注は前期を上回ることとなりました。

これから当期の連結売上高は5,830百万円(前期比3.6%減)となりました。

一方利益面につきましては、工業用縫い糸の受注低迷が続いたことにより、減益要因が拡大したものの、一昨年の販売価格改正による利益率の改善や当社における家庭用縫い糸の増収に加え、賃借料の減少や対外営業活動停滞に伴う経費の減少など、当社新社屋の営業開始に伴い発生した一過性の費用負担や償却費を上回る経費の減少もあり、営業利益は95百万円(前期比122.5%増)、経常利益は146百万円(前期比20.4%増)となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期は当社の東京支店の減損損失89百万円を特別損失に計上したため、25百万円の損失となりましたが、当期は137百万円の利益となりました。

セグメント別の概況と今後の見通し

セグメント別の概況

日本

当セグメントは当社および国内連結子会社3社の業績が連結されております。

国内連結子会社は期末を1月末と定めていることや、それぞれの事業分野や販売地域も異なるため、状況は各社ごとに若干の相違が見られるものの、第3四半期以降も所謂巣ごもり需要とも言える家庭でのソーイング需要は、徐々に沈静化を見ながらも高止まり傾向が続き、当期の家庭用縫い糸の受注は、前期を上回ることとなりました。

しかしながら、アパレル・ファッション業界におきましては、コロナ禍による外出機会の減少や購買意欲の減退、インバウンド需要の消失等により落ち込んだ国内における衣料品消費は、回復も限定的で、日本国内における生産は、防護服など一部を除いて抑制傾向が続いたことから、主力である工業用縫い糸の受注は低迷が続きました。

これから当セグメントの売上高は4,796百万円(前期比0.5%増)となりました。

また、利益面につきましては、工業用縫い糸の減収に加えて、昨夏の当社新社屋の営業開始に伴う一過性の費用負担や償却費が発生したものの、一昨年の販売価格改正による利益率の改善や当社における家庭用縫い糸の増収、賃借料や対外営業活動停滞に伴う経費の減少等もあり、セグメント利益は31百万円(前期は39百万円の損失)となりました。

アジア

当セグメントは12月末日を期末とする海外連結子会社8社の業績が連結されております。

アジアセグメントの主となる中国におきましては、新型コロナウイルス感染者数も抑制され、経済全般には回復傾向が見られましたが、タイ国におきましては消費の回復は見られず、アパレル・ファッション業界を始め、繊維産業全般に厳しい事業環境が続きました。

また、日本向け衣料品の生産につきましては、日本での消費の落ち込みを受けて、第3四半期以降も抑制傾向が続き、日本向け衣料品用の工業用縫い糸の販売や生産が大きなウェイトを占める当セグメントの各子会社は、全般に厳しい商況で推移しました。

これらに加えて為替換算レート変動による減収要因もあり、当セグメントの売上高は1,033百万円(前期比19.0%減)、セグメント利益も51百万円(前期比42.1%減)にとどまりました。

今後の見通しと取り組み

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症は、わが国においても、4月以降各地において、まん延防止等重点措置や三度目となる緊急事態宣言の発令に至るなど、収束が見通せない状況が続く一方で、ワクチンの接種が開始され、今後の接種状況の進行によっては徐々に感染収束に向けた期待が高まるものと思われれます。

しかしながら衣料品の消費につきましては、今回のコロナ禍をきっかけにした経済や雇用情勢の悪化や生活様式の変化などにより、回復はまだら模様で鈍いと予想され、その生産も当面回復が見通せないため、当社グループの主力である工業用縫い糸の受注の回復が見込めない上に、巣ごもり需要で高止まりしていた家庭用縫い糸の受注も鈍化傾向にあることから、当社グループの事業環境は、国内外共に厳しさが続くものと見込まざるを得ません。

当社グループは一定の内部留保を維持しておりますものの、このような厳しい見通しを踏まえ、引き続き感染防止に努めつつ、まずは国内外のグループ各社の事業運営と収益の維持が、喫緊の課題であると認識しております。

また一方で、今後の生活様式の変化、消費志向や購買行動の変化と多様化、持続的社会の構築に向けて高まりつつある顧客やユーザーの要請など、様々な事業環境の変化を的確に捉えるよう努めつつ、中長期に対処すべき課題にグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き長い目でご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

フジックスグループ Network



事業所

本	社 管理部・営業部 〒603-8322 京都市北区平野宮本町5番地 ☎075-463-8111
東京支店	営業部 東京都豊島区
滋賀事業所	生産部・物流部・研究開発室 滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門 秋田県横手市

連結子会社

国内
株式会社 F T C (生産会社 京都 東京 岐阜)
株式会社 シオン (販売会社 秋田)
株式会社ニットマテリアル (販売会社 山梨)
海外
上海富士克制線有限公司 (生産会社 中国・上海)
上海富士克貿易有限公司 (販売会社 中国・上海)
上海新富士克制線有限公司 (販売会社 中国・上海・大連・南通・北京)
富士克國際(香港)有限公司 (販売会社 中国・香港)
上海福拓線貿易有限公司 (販売会社 中国・上海)
常州英富紡織有限公司 (生産会社 中国・溧陽)
FUJIX VIETNAM CO.,Ltd. (販売会社 ベトナム・ホーチミン)
FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd. (販売・生産会社 タイ・バンコク)

財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当連結会計年度 (2021年3月31日現在)	増減
資産の部			
流動資産	6,697	6,617	△ 79
固定資産	3,862	4,089	226
有形固定資産	2,659	2,676	17
無形固定資産	207	191	△ 15
投資その他の資産	996	1,221	225
資産合計	10,560	10,707	146
負債の部			
流動負債	699	573	△ 125
固定負債	823	751	△ 71
負債合計	1,522	1,325	△ 197
純資産の部			
株主資本	8,098	8,161	62
その他の包括利益累計額	241	545	303
非支配株主持分	697	675	△ 21
純資産合計	9,037	9,382	344
負債・純資産合計	10,560	10,707	146

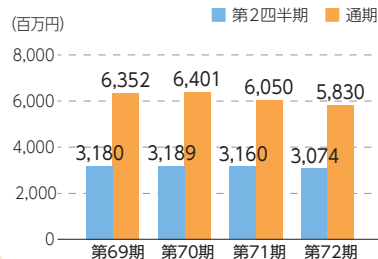
連結損益計算書

(単位：百万円)

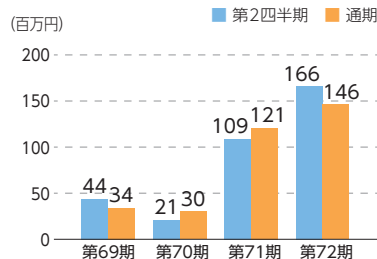
科目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	増減
売上高	6,050	5,830	△ 220
売上原価	4,321	4,084	△ 236
売上総利益	1,729	1,745	16
販売費及び一般管理費	1,686	1,650	△ 36
営業利益	42	95	52
営業外収益	102	81	△ 20
営業外費用	23	30	7
経常利益	121	146	24
特別利益	1	1	0
特別損失	94	1	△ 92
税金等調整前 当期純利益	28	146	117
法人税・住民税及び事業税	39	54	15
法人税等調整額	△ 8	△ 53	△ 45
当期純利益 (△は損失)	△ 2	145	147
非支配株主に帰属する 当期純利益	23	7	△ 15
親会社株主に帰属する 当期純利益 (△は損失)	△ 25	137	163

注 国内連結子会社は2020年2月～2021年1月(1月決算)、海外連結子会社は2020年1月～12月(12月決算)の業績が連結されております。

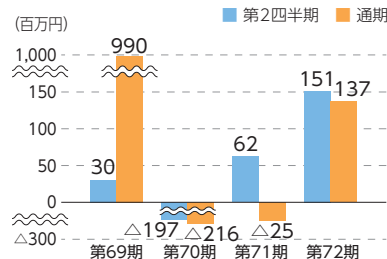
■売上高



■経常利益



■親会社株主に帰属する当期純利益



貸借対照表

(単位：百万円)

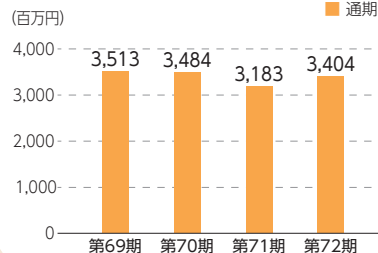
科目	前期 (2020年3月31日現在)	当期 (2021年3月31日現在)	増減
資産の部			
流動資産	4,032	3,950	△ 81
固定資産	4,328	4,618	290
有形固定資産	1,559	1,649	89
無形固定資産	33	20	△ 13
投資その他の資産	2,734	2,949	214
資産合計	8,360	8,569	209
負債の部			
流動負債	314	290	△ 23
固定負債	553	551	△ 1
負債合計	867	842	△ 25
純資産の部			
株主資本	7,377	7,419	42
評価・換算差額等	116	307	191
純資産合計	7,493	7,727	234
負債・純資産合計	8,360	8,569	209

損益計算書

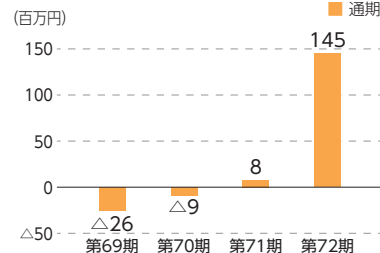
(単位：百万円)

科目	前期 (自 2019年4月 1 日 至 2020年3月31 日)	当期 (自 2020年4月 1 日 至 2021年3月31 日)	増減
売上高	3,183	3,404	220
売上原価	2,264	2,336	72
売上総利益	918	1,067	148
販売費及び一般管理費	989	1,026	36
営業利益 (△は損失)	△ 70	41	111
営業外収益	121	133	12
営業外費用	41	29	△ 12
経常利益	8	145	136
特別利益	0	—	△ 0
特別損失	91	39	△ 52
税引前当期純利益 (△は損失)	△ 82	105	187
法人税・住民税及び事業税	5	32	27
法人税等調整額	△ 12	△ 55	△ 42
当期純利益 (△は損失)	△ 74	128	203

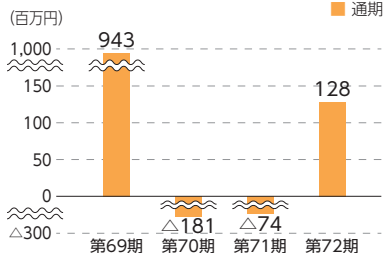
■売上高



■経常利益



■当期純利益



トピックス

時流を捉えて先を読み、誰よりも早く行動した創業者 藤井太一

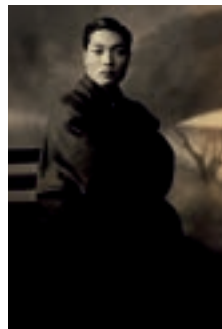
1893年8月、フジックスの創業者である藤井太一は、愛知県にある三河湾三島の一つ、佐久島で生を受けました。

早くに父を亡くし、叔父のもとで佐久島の小学校を卒業後、名門の名古屋商業学校（現名古屋市立名古屋商業高等学校）に進学し、そこで商売に関する基礎を学びました。

卒業後、名古屋市的高级陶磁器メーカーに就職しましたが、「これからは糸の時代」と思い直し、1914年に呉服や織物など繊維製品を手広く扱っていた繊維製品製造販売会社に転職、織物原料である絹燃糸の販売を担当しました。

そして自身の夢をかなえるため独立を目指し、1921年2月に退職、翌3月10日に後半の勤務地であった京都において生糸燃糸商「藤井太一商店」を創業しました。

当初は、西陣織用の絹糸を販売していた藤井太一商店ですが、当時流行していた絹ショール用の絹燃り糸を大量に作ってしまい、流行の変遷と共にデッドストックとなった在庫の山を、絹手縫い糸として加工して販売を始めたのが縫い糸製造販売の始まりとなりました。



創業当時の藤井太一

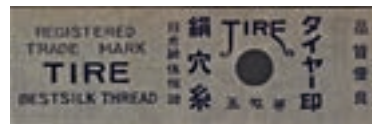


「誠実」の書

また太一は創業以来、「誠実」を社とし、当時「目方売り」であった絹糸の重量を決してごまかすことなく、「目方絶対保証」を掲げて製品の信頼向上にも努めました。

その後、昭和の初めにかけて洋装が浸透し始めると共にミシンが世の中に普及し始めると、太一は先発の同業者に先駆けて販売の力点を手縫い糸からミシン糸に移すことを決断しました。

これにより、昭和初期には全国に販売を広げ業容を拡大することとなりました。



「目方絶対保証」の製品ラベル

1930年代には戦時色が強まり、民生用の物資が統制配給され軍需用優先の時代の中、太一は軍服縫製用のミシン糸の製造販売に力を入れていくようになりました。そして、当時の国策に沿って、満州絹糸工業株式会社、朝鮮絹糸工業株式会社を設立し海外進出を果たしましたが、敗戦と共に両社は接収されました。

戦後しばらくは繊維原料も統制が続く中、太一は自由に販売できるボタンなど裁縫付属品の販売を行って、顧客とのつながりを保っていましたが、1949年の統制解除の際に統制会社が所有していた絹縫い糸原料の全量獲得のための入札に参加することを決断、銀行の資金協力も得てそのほとんどを落札し、原料の安定確保に成功しました。そして、翌1950年1月に藤井繊維株式会社を設立しました。

しかし太一は、大量の絹縫い糸の原料を獲得する一方で、将来は縫い糸も天然繊維から化学繊維に転換していくことを予感し、設立の翌年（1951年）、東洋レーヨン株式会社（現・東レ株式会社）との共同開発により、日本初の合織ミシン糸『キング印ナイロンミシン糸』を発売しました。

常に時流を捉えて先を読み、誰よりも早く行動し、縫い糸製造業の礎を築いてきた創業者 藤井太一でしたが、会社のさらなる発展を願いながら1955年7月、61歳でこの世を去りました。

縫い糸事業を通して長期安定経営を目指した会社の100年の歩み

年月	事項
1921年 3 月	京都市上京区に生糸・撚糸の販売を目的として藤井太一商店を創業
1923年 3 月	絹手縫い糸の製造販売を開始
1930年 3 月	名古屋市中区に名古屋支店を開設
1937年10月	京都市右京区の日本人造テグス工業株式会社を買収し、山之内工場を開設
1941年	「満州絹糸工業株式会社」を設立
1943年	「朝鮮絹糸工業株式会社」を設立
1949年 5 月	大阪市南区(現・中央区)に大阪支店を開設
1949年 9 月	東京都中央区に東京支店を開設
1950年 1 月	各種繊維による縫い糸の製造及び販売を主目的として、藤井繊維株式会社(資本金500万円)を設立
1950年 5 月	東洋レーヨン株式会社(現・東レ株式会社)の技術協力を得て、ナイロンミシン糸の開発に着手
1951年 4 月	日本初の合繊ミシン糸“キング印ナイロンミシン糸”を発売
1958年 4 月	合成繊維ポリエステル登場とともに“キングポリエステルミシン糸”を開発、発売
1964年 9 月	名古屋支店を中区に新築移転
1967年 9 月	滋賀県八日市市(現・東近江市)に八日市工場を新設し撚糸の製造を開始
1970年 3 月	創業50周年を節目として、本社を京都市北区に新築移転
1974年 9 月	ポリエステル特殊紡績糸による家庭用縫い糸“シャップスパンミシン糸”を発売
1977年 4 月	東京支店を東京都台東区に新築移転
1992年10月	ポリエステル糸による“キングスターミシン刺しゅう糸”を発売、ミシン刺繍糸分野に参入
1993年 1 月	商号を株式会社フジックスに変更
1993年 4 月	中国、上海市に子会社「上海富士克制線有限公司」を設立
1994年 9 月	大阪証券取引所の市場第二部特別指定銘柄及び京都証券取引所に上場
1995年 3 月	中国、上海市に子会社「上海富士克貿易有限公司」を設立
1996年 1 月	大阪証券取引所市場第二部に上場
2002年 3 月	大阪支店・名古屋支店を廃止し本社に統合
2003年11月	子会社「上海新富士克制線有限公司」を設立
2004年12月	子会社「富士克國際(香港)有限公司」を設立
2009年 9 月	京都市北区に子会社「株式会社FTC」を設立、東洋紡ミシン糸株式会社のミシン糸事業を譲受
2009年10月	秋田県横手市の縫い糸卸商「株式会社シオン」の全株式を取得し子会社化
2010年11月	山梨県甲府市に子会社「株式会社ニットマテリアル」を設立、株式会社三景 甲府営業所の事業を譲受
2011年 4 月	株式会社FTCが子会社「上海福拓線貿易有限公司」を設立
2011年 6 月	タイ国バンコクに合併子会社「FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd.」を設立
2012年 5 月	ベトナム ホーチミン市に子会社「FUJIX VIETNAM CO.,LTD」を設立
2013年 7 月	市場統合により東京証券取引所市場第二部に移行
2017年 6 月	中国常州市の縫製糸撚糸加工会社「常州英富紡織有限公司」の持分を追加取得し、連結子会社化
2019年 3 月	東京支店を豊島区目白に新築移転
2020年 6 月	京都市北区の本社新社屋竣工
2020年11月	サステナビリティの一環として、ペットボトルをリサイクルした原料を使用した“リペット・スパンミシン糸”を本格的に販売開始
2021年 3 月	創業100周年を迎える



藤井太一商店銘板



キング印ナイロンミシン糸



シャップスパンミシン糸



大阪証券取引所
上場記念盾

はやぶさ2にも当社のミシン糸が使用されました。



はやぶさ2 [イラスト:池下章裕]

さ)にも当社の縫い糸が使用されており、「はやぶさプロジェクト」において2代続けての採用となりました。

2020年12月、小惑星探査機「はやぶさ2」がC型小惑星「Ryugu」(リュウグウ)からサンプルを採取して、無事地球に帰還しました。

この帰還用カプセルのパラシュートの縫製に当社の縫い糸が使用されました。

2010年6月に小惑星「イトカワ」から無事に帰還した初代「はやぶ



分離するパラシュート [イラスト:池下章裕]

ホームページとSNSのご案内

株主の皆様に向けた株主総会に関するお知らせやIR情報を掲載しているサイトのほか、手作りファンのための情報サイト「そーいんぐ.COM」や当社の製品をご購入いただけるショッピングサイト「糸屋さん」がごございます。また、広く当社のことを知っていただくためにTwitterやInstagramで、キャンペーン情報や新製品情報、手作り情報を発信しています。

○ホームページURL <https://www.fjx.co.jp>



@fujix_info



@fujix_info



会社の概況

事業内容

フジックスグループは、社是を「誠実」とし、家庭用縫い糸及び工業用縫い糸、刺しゅう糸の製造販売を主たる事業として、ファッションや手作りホビーを裏方として支えております。フジックスの製品は家庭用・工業用を合わせると1300種類ものアイテムがあり、多いものでは数百色という色があるアイテムもあります。

また、これらの原材料及び半製品の販売や手芸関連商品、縫製副資材等の販売も行っております。

創業 設立 従業員数

1921年（大正10年）3月
1950年（昭和25年）1月
126名（連結424名）
（2021年3月31日現在）

●役員（2021年6月29日現在）

代表取締役	藤井 一郎	社長
常務取締役	松尾 勇治	管理部長
常務取締役	藤井 翔太	経営企画室長
取締役	川嶋 伸久	アパレル資材部長
取締役	上原 康裕	生産部長
取締役（監査等委員）	枚山 広幸	
取締役（監査等委員）	吉田 薫	社外取締役
取締役（監査等委員）	山田 善紀	社外取締役

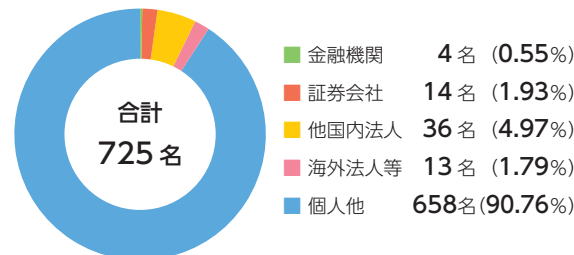
株式の状況（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数 3,989,000株
発行済株式の総数 1,468,093株
株主数 725名
大株主

	保有株式数（株）	持株比率（%）
株式会社FJ興産	158,600	11.52
藤井多鶴子	115,400	8.38
小原京子	86,000	6.25
鈴木直子	68,400	4.97
藤井一郎	44,000	3.20
藤井太郎	42,800	3.11
INTERACTIVE BROKERS LLC	38,800	2.82
株式会社三井住友銀行	36,960	2.68
株式会社京都銀行	33,200	2.41
クロバー株式会社	32,800	2.38

当社は、自己株式91,425株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

株主分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日
(2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
郵便物の送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
及び照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
電子公告としております。
公告方法 <https://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)
証券コード 3600



<https://www.fjx.co.jp>

キャンペーン、新商品情報や手づくり情報などを発信しています!



@fujix_info



@fujix_info



Webショップ

フジックス家庭用糸が
全品種購入できます。



<http://fujixshop.shop26.makeshop.jp>

